

森林

レンジャー がゆく

(8)

深沢の大カシ周辺の整備

深沢の山の中に大きなウラジロガシの木がありま
す。ちようど深沢の家々を
見下ろすことができる尾根
にウラジロガシがたたくみ、
長年深沢の人々を見守って
きました。太い枝を空に広
げ、大きな石灰岩の上に根
を張った姿は、まさに村の
守り神ともいえる神聖な雰
囲気を醸し出しています。
この大カシとの出会い

は、5月、森林レンジャー
になりたてのころ、深沢の
山へ入ったときのことです
た。元々、一部の地元の人
は大カシの存在を知ってお
り、その確認のため森林レ
ンジャーで深沢の山を調査
しました。(今思えばこれ
が森林レンジャーの初野外
調査) 思っていた以上に山
の斜面がきつく、しかも藪
をかき分けながら尾根を目



指すこととなりました。ふ
と顔を上げると大きな岩の
上に巨木のシルエツト。大
カシに近づくごとにその存
在感に圧倒され言葉を失っ
たことを今でも覚えていま
す。

さてこの大カシ、先ほど
説明したとおり一般の方が
目にするこの無い山中に
存在します。そこで深沢自
治会の皆さんと一緒に大カ
シの周辺を散策できるよ
う整備しました。斜面の
林は、適度な間伐と下草
刈りを実施し、歩きやす
いよう散策路を整備しま
した。もちろん間伐で切
り倒した針葉樹は、散策
路の土留めなどで再利用

しています。また、登り口
の急斜面には階段を設置し
ました。この階段には昔の
木製電柱を玉切りにし、再
利用しています。地元の方
が木製電柱の存在を忘れ
ず、また、コールタールを
塗った腐食しない特性をも
った木を階段に利用する知
恵にただ感心するばかりで
した。

地元の人に愛される大カ
シ。これからはいろいろな
人に大事にされながら後世
に残していけたらいいなど
思います。そうそうこの大
カシに名前を付けました。
名は「山抱きの大カシ」で
す。

佐々木優也